

オアシス通信



6月19日(木)に中畑友里さんをお迎えして、女性会主催のサマーリサイタル&ランチョンを開きました。

中畑さんは7年前、「犠牲のないところに救いの働きはない」との御声をうけ、賛美を通してイエスキリストの愛と救いを伝える働きを始められました。



女性会

中畑友里さん迎え サマーリサイタル

中畑さんのオリジナル曲は、歌詞とメロディー一節一節に神様の愛と慰め、励ましがあふれる作品ばかりで、心に染み入るものでした。

80名近くの方が集われ、中畑さんの証と美しい賛美、そして女性会の方々が用意してくださった食事に、心も体も恵まれたひと時でした。



六月五日(木)から七日(土)まで香港において開催されたエンパワード21アジア大会に妻と共に参加しました。日本からは三十数名の参加がありました。聖霊様の圧倒的なご臨在の中で始まり終わりました。

主講師のローレンス・コブズン師、シンディ・ジェイコブズ師、ビリー・ウイelson師を始め他の講師たちも一緒に次世代を勝ち取り、励まし、育成することの必要性を説かれました。それはまさに、預

圧倒的な聖霊様の臨在 香港でエンパワード21

言的メッセージでした。マラキ4章5節-6節から、エリヤの霊が注がれて「父の心の子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる」働きが起これ、家族の癒しが与えられ、世代間の断絶が取り除かれるようにとのチャレンジがあり、祈りがささげられました。

八日(日)の聖日には、午前に香港のICAインドネシア人礼拝で、夕方にマカオのICAインターナショナルチャーチの合同礼拝で奉仕しました。(牧師)

「父の日」礼拝

六月十五日の礼拝において、小山牧師より「親子関係の回復」というタイトルでメッセージが語られました。父の日の由来、子どもの教育におけ



る父親の役割の重要性、親が残すことのできる最大の遺産は「田畑ではなく、清く勇ましい人生と神への信仰である(内村鑑三の言葉)」こと、親

子関係の回復のためには、①神にはどんなことでもできることを信じる②キリストを信じ、子としての御霊を受ける③礼拝の中で聖なるお方に触れる④預言者エリヤの霊(聖霊の助け)を受ける、の四つの点が強調されました。

また兄弟会による「父の涙」の賛美もありました。

こどもイベント
六月二十一日(土)にひかりのこどもで「作って食べて楽しむもう」というイベントをしました。ドライアイスを使ったシャーベット作りと、グラニュー糖でべっこうあめ作りをしました。四十人の参加がありました。